

## バイオホール<sup>®</sup>キットGA

### 再使用禁止

#### 【警告】

##### 1. 使用方法

- 1) 本品に薬剤(リドカイン系噴霧剤、アルコール等)を使用する場合、ひび割れに注意すること。[漏血のおそれがある。]

#### 【禁忌・禁止】

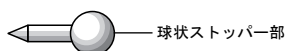
##### 1. 使用方法

- 1) 再使用禁止

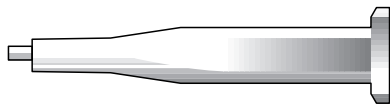
#### 【形状・構造及び原理等】

##### 1. 形状・構造

- 1) バイオホールスティック



- 2) 保持具



##### 2. 材質

バイオホールスティック	ポリカーボネート
-------------	----------

#### 【使用目的又は効果】

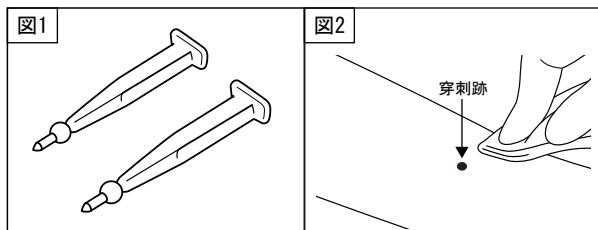
- ・血液透析を行う際、穿刺部位に留置するために使用する。
- ・本品は滅菌済みであるので、そのまま直ちに使用できる。

#### 【使用方法等】

##### 1. 使用方法

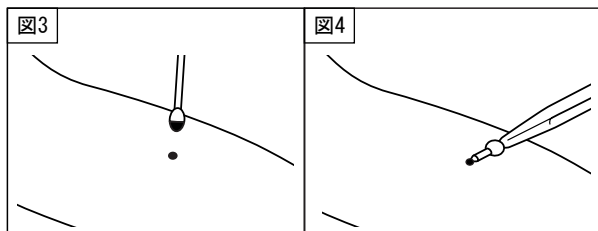
- 1) バイオホールスティックの留置

- (1) 通常透析終了後、又は穿刺針を用いて穿刺を行った後、穿刺針を抜去し、完全に止血を行って5分以上放置します。
- (2) バイオホールスティックに保持具がしっかりと組みつけてあることを確認します。(図1参照)
- (3) 穿刺跡付近広域をよくアルコール消毒します。(図2参照)

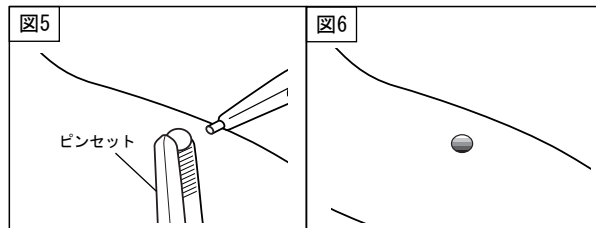


- (4) 綿棒を用いて穿刺跡にポビドンヨード液を滴下します。(図3参照)

- (5) バイオホールスティックの先端を穿刺跡に挿入します。穿刺跡に沿って、球状ストッパー部が皮膚表面に来るまでバイオホールスティックを挿入します。(図4参照)

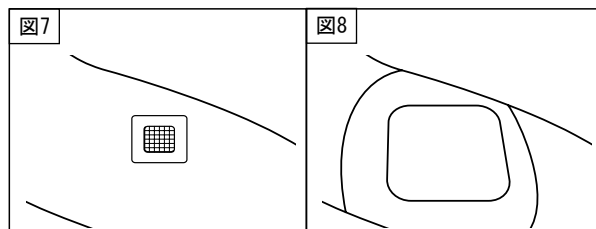


- (6) ピンセットでバイオホールスティックの球状ストッパー部をつかんで保持具を回しながら外します。(図5参照) これにより、バイオホールスティックが留置された状態となります。(図6参照)



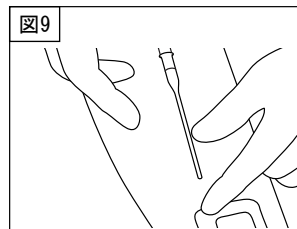
- (7) バイオホールスティックが抜け落ちないように上から絆創膏を貼ります。(図7参照)

- (8) 絆創膏の上から撥水性の絆創膏を貼ります。このとき、絆創膏を撥水性のパッド部が覆い被さるようにします。(図8参照)



- (9) 入浴時には撥水性の絆創膏の上からさらにビニール等で覆います。入浴した後は撥水性の絆創膏を取り替えます。

- (10) バイオホールスティックが留置されている間は、留置部位付近を避けて透析開始時の穿刺を行います。(図9参照)



##### 2) バイオホールスティックの交換

- (1) バイオホールスティックは留置部位の状況を見て適宜交換します。
- (2) バイオホールスティックの交換は、留置の場合と同じ方法で行います。
- (3) あらかじめ新しいバイオホールスティックに保持具を接続しておきます。
- (4) 留置してあったバイオホールスティックを、ピンセット等を用いて抜去し、留置跡を中心に広域をアルコール消毒します。
- (5) 留置跡にポビドンヨード液を滴下し、保持具を持って新しいバイオホールスティックを挿入します。
- (6) ピンセットを用いて保持具を取り外し、バイオホールスティックの留置を完了します。
- (7) バイオホールスティックの上に絆創膏を貼り、更に撥水性の絆創膏で覆います。

## 【使用上の注意】

### 1. 重要な基本的注意

- 1) 本品の破損やひび割れ等の異常が確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。

### 2. 不具合・有害事象

#### 1) 重大な有害事象

一般的に透析中、又は終了後に患者にいくつかの症状が起こることが報告されている。本品の使用中に患者に万が一異常な症状が認められた場合（たとえば頭痛、吐き気、嘔吐、胸痛、下痢、血圧低下、血圧上昇、呼吸困難、顔面紅潮、動悸亢進、眼瞼浮腫、発熱、悪寒、異常発汗、筋痙攣、耳鳴り、掻痒感、気分不快、ショック、胸部不快感、咳き込み、顔色不良、腹痛、背部痛、頻脈、倦怠感、味覚異常、嗅覚異常、発疹・発赤等の兆候或いは症状）は、使用を中止するなどの適切な処置を行うこと。

## 【保管方法及び有効期間等】

### 1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

### 2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。

有効期間：滅菌後3年 [自己認証（自社データ）による]

### 3. 使用期間

バイオホールスティックは週1回以上交換し、10～30日間の留置期間とすることを推奨する。<sup>1)</sup>

## 【主要文献及び文献請求先】

### 1. 主要文献

- 1) 中井 滋、新里 高弘、當間 茂樹 他  
日腎会誌 44(3) : 211, 2002

### \*2. 文献請求先

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

\*製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造

ニプロ株式会社



ニプロ株式会社